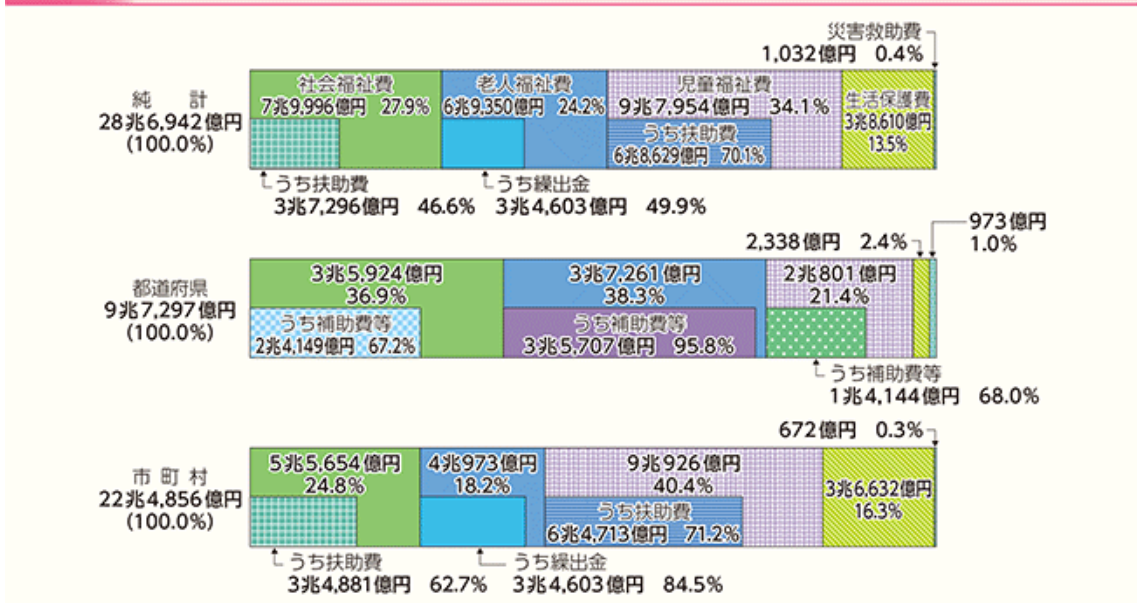


令和4年版地方財政白書 民生費

第29図 民生費の目的別内訳



民生費の目的別の内訳をみると、第29図のとおりであり、児童福祉費が最も大きな割合を占め、以下、社会福祉費、老人福祉費、生活保護費の順となっている。また、各費目の決算額を前年度と比べると、児童福祉費が6.5%増、社会福祉費が17.0%増、老人福祉費が8.7%増、生活保護費が1.8%減となっている。

これを団体区分別にみると、都道府県については、後期高齢者医療事業会計、介護保険事業会計への負担金を拠出していることから、老人福祉費の構成比が最も大きく、以下、社会福祉費、児童福祉費の順となっている。市町村については、上述のとおり、児童福祉に関する事務及び社会福祉施設の整備・運営事務を主として行っていることから、児童福祉費の構成比が最も大きく、以下、社会福祉費、老人福祉費、生活保護費の順となっている。

資料：令和4年版地方財政白書、総務省